

# 令和6年度 庄内川日比津河道掘削工事

推薦者	中部地方整備局 庄内川河川事務所
発注者	中部地方整備局 庄内川河川事務所
業者名	株式会社 山田組
工期	2024年6月10日～2025年2月28日
施工場所	名古屋市中村区稲葉地町地先から日比津町地先
請負金額	209,000,000円

## 【取組概要】

本工事は、庄内川下流部の日比津地区において、河川整備計画に基づき治水安全度の向上を図るための河道掘削を実施したものである。

掘削にあたり、ICT施工対応の水陸両用ブルドーザ工法を活用し、安全な掘削作業、出来高管理を実施。また、現場見学会等でデモンストレーションを実施するなど、DX技術の情報発信にも貢献。



施工中のMG画面



ICT活用による施工状況



ICT施工のイメージ



ICT現場見学会の実施

- 河道掘削の施工にあたり、水陸両用ブルドーザを使用することで、河川内作業の遠隔操作により安全性が向上。
- ICT施工対応の水陸両用ブルドーザ工法（NETIS登録QS-220011-A）を採用したことで、出来高計測にボートや潜水土が不要となり、従来と比べて10人工の省人化。掘削完了箇所が明確に確認できることで従来と比べて47時間程度作業時間が短縮。
- 水中掘削の実施により、瀬換え等の河川内仮設工事が不要となり、河川工事の工期短縮や河川環境への影響が最小限にできる、有効的な取り組み。
- 事務所主催の現場見学会では小・中学生にICT施工のデモンストレーションを行うなど、DX技術の情報発信にも貢献。
- 仮設工事が削減できることや、ICT建機での出来形計測が可能となることにより、省力化・省人化が図られ、人手不足解消の一助となっていることから、波及性に期待できる。